

決起大会にて動続10年表彰を受けられた本部管理室の伊藤室長が報奨旅行に行かれました。台風の影響に伴い、道中は全て雨となってしまったようですが、ご家族との旅行を楽しまれたようです。伊藤室長のレポートよりその様子をご紹介します。



◆◆旅館『八景』◆◆  
 出迎えて受けてロビーラウンジで冷茶と一口サイズの焼き芋を頂く。そうそうこれが『八景』のおもてなしだ(嬉)！お部屋は『砂湯』側、つまりリバーフロントでした。ただの川ではありません。川のほとりに温泉が湧き、露天風呂が設けられている川です。すぐ前が川の中の露天風呂、それから左に目をやると巨大な湯原ダムが望み、そしてこの旅館。いやすごいところに豪華旅館を造ったものだ…  
 夕食は、部屋食でないのは残念でしたが、そのかわりオープンキッチンで料理人さんたちが調理する姿が見える形でした。見た目に美しい数々の料理、特に「野菜の焼きもも」は7種の野菜が一つ一つ違う味付けをしたあと蒸してあると言われました(感激)。20歳になった娘も一人前に食前酒から日本酒を選ぶ。本格的な懐石スタイルの旅館に連れてきたのは小学生以来かも。堪能している様子が笑みが…。食事中、懐かしい女将さんの声が聞こえてきた。向こうのテーブルから順に過ぎていってしまう様子。さすが「お帰りの宿」の通り、話されている内容が「実家で待つ母」そのもの。くだけた調子で今日のお料理を説明したり、宿までの道中を聞いて聞きたりと。私たちのすぐ手前のテーブルは中国人のカップルだったようで、英語で会話「ぜひ中国版フェイスブック：ウェイボーに投稿してね」といった内容やお料理の説明も詳しくされました。相変わらず多才な人物です。私たちの席に来られ、「お久しぶりです。社長は元気？」「10年表彰を家族旅行に替えてくれるなんて、素敵な会社ね。」「(私の母へ)母さん、よかったね。」など、こちらが嬉しくなる言葉ばかりいただきました。翌朝は、朝食前に部屋付きの露天風呂、朝食後に屋上の露天風呂に。ほかにも書ききれないくらいのおもてなしがありました。

◆◆温泉街を探索◆◆

旅館街は派手さはないが、往時(流行っていたころ)を髣髴とさせるすき間なく並ぶ旅館たち。今は経営されている様子のあるところもありました。道筋には、「足湯」に、近頃流行りの「手湯」を一緒に備えた施設があり、3〜6才の男の子の2人兄弟とママがはしゃぐ姿が微笑ましかったです。

◆◆最後に◆◆

最後に10年動続の報奨として、「息子の居る東京の最高級の接客のホテルで宿泊」をいただきながら、岡山県の温泉『八景』に替えていただけませんか、とお願いしたのは、母にこの旅行をプレゼントしたかったからです。入社から17年間たちますが、母は保育園から高校まで子供たちの送り迎え、病気をすれば病院に連れていってくれ帰る時は夕飯のおかずもできていました。3年前の75歳まで自身も自営業をしながらです。今まで鮮コーポレーションで責任ある仕事をしてこられたのも母のお陰です。普段、感謝を表す機会はありませんが、今回、会社の力を借りて表しました。社長もその意図を汲んでくださり本当に感謝しています。全てのこと、ありがとうございました。



『八景』にて温泉・料理・おもてなしをお母様ご主人、娘さんと一緒に満喫されました。

動続表彰報奨  
 湯原温泉  
 『八景』  
 9/29~30

数々の研修などでお世話になっている  
 [サードクォーターコンサルティング(株)]様主催の繋和会  
 『事例研究会/広島』が開催されました！

繋和会  
 事例研究会  
 in 広島  
 9/12~13

事例研究会では、繋和会加盟の会社の店舗や各地区の繋盛店で視察を行い、お互いに切磋琢磨する会ということで、全国の飲食店を経営されている社長様・店舗責任者様の総勢50名の方が、鮮コーポレーション株式会社様の店舗を見て回っていただきました。



- 12日  
 ●リーガロイヤルホテルにて研修会  
 ●西田社長より会社の沿革や店作りについてのお話  
 ●厳島神社のある宮島を訪問  
 ●部の料亭 地御前 店舗見学・懇親会の開催
- 13日  
 ●広島城・原爆ドーム・平和記念公園  
 ●ジ・アウトレットモール広島へ  
 ●すし鮮 THE OUTLETS HIROSHIMA店視察&昼食  
 ●広島駅〜すし辰ekie店視察

鮮コーポレーションの経営理念で一番基本になっている言葉は、【VIVID:活き活き】です。『わたしのVIVID』というテーマのメッセージをリレー形式で掲載します。今回は、吉實さんの登場です。

リレー  
 メッセージ

「わたしのVIVID」 本部 吉實 晋二郎

私が入社してから4年が経ちます。正直そんなにも長いこと働いていないし、他の先輩方のように『自分の考える仕事ってこういうもの』とか、『こういう風に頑張ってこまごまやってきました』みたいなのは書けません。この四年間働いて経験して学んだことは、『やってみないと、続けてみないと何もわからない』ってことです。作業一つとってもそうだし、人間関係もそうですし、自分の立ち位置みたいなものもそうですし。入社したときは本当に訳が分からなかったです。

最初の配属は三次店でした。すごく忙しくて、自分の作業でいっぱいだったことを覚えています。そんな感じで作業は遅い、接客はぎこちないまま本当にどうしようもない奴でした。そんな私を何とか変えようとして下さったのが、当時の三次店の田口店長をはじめ、他の社員の方々です。時に優しく、大体厳しく指導して下さい、「なんか少しは…使え…。」位(当社比)にはなったと思います。本当に教え甲斐のない人間だったと思います。今思い返してもそう思います(笑)。結構な頻度で怒られて、なんてダメなやつなんだと自分で思いますが、でもやめようとは思ってなかったですね。出来ないことが少しでも出来るようになればそれが楽しかったんです。教えてもらうこと一つ一つが理に適っていて、そういう着眼点で見ればいいのだから、それも楽しかったからだと、教えます。お店に慣れてきて、スタッフでもある程度良い関係を築けて、自分に割り振られた仕事もそれなりに出来る様になって、そのころに三次店の店長になられた伊達店長の下で色々やらせてもらえるようになるのかなあと思った矢先に西条店に異動しました。

ちょうど西条店勤務が一年たった頃、西条店店長が佐々木店長に交代されました。少し前の時期から副店長として西条店に入られていたのですが、正直一緒に働く前の評判は、お世辞にもいいとは言えませんでした。ただ、一緒に働いてみた印象は、なんか噂と全然違ってたことでした。気難しい人かと思ってたんですが…。人のことなんて本当に実際に会って見てみないと分からないんだってことを思い知りました。ホールスタッフへの指導は『徹底して出来る様になるまでやる』という感じが一貫して、見ていて気持ちよくなるくらいでした。私が元々やっていた、佐々木店長に渡っていたシフト作成についてもアドバイスをいただいたり、原価管理も少しはやる位でしたが教えていただきました。一番大事なことは、人に分かるまで言い続ける事なんだと教わりました。目的がはっきりしていてどう動いたらいいのかが分かりやすかったので、少し楽しくなってきました。日々はスタッフの穴埋めに走り回っていて、しんどい日があってもなんか役に立っている感じが有って楽しかったです。

ただその時くらいに足を痛めてしましまして、病名を聞けば【右大腿骨頭一過性骨萎縮】だそうです。何それ怖い。病名がピンとこない過ぎて怖い。病院の先生には治るのに一年はかかると言われて、その場で「はあ????!!」って本当に声に出ちゃうくらいショックでした。とにかく右足に体重がかけられなくて松葉杖生活で、仕事なんてもちろんできません。間々と休養を過ごして1週間経過後はたたくくらいで、社長から連絡があり、「本日で話をしよう」との事でした。いや、もう現場で働けないでしょ、普通に解雇されるんじゃないかとビクビクしながら本部へ。結果から言えば本部に異動しないかとのことでした。一応入社した当初は本部勤務希望だったので断る理由なく現在本部所属です。

現場とは全く違った仕事内容でまだまだ慣れない部分が多いです。本部に入って実感したのは、お客様を含め、外部の方とのやり取りが多く、今までにない経験ばかりです。おしいカードの登録や問い合わせ、クレーム対応ももちろんあります。社内のことと言えば、給与計算それに伴う税金の支払いの管理、スタッフの社会保険料の申請や管理、部屋を借りる人がいればその住まい探します。今までこんなことしてもらっていたんだなあというのが素直な感想で、今度から自分でやらなといけないうわあ…というのが現状です。現場にいるときは少なくとも私はこんなことやってもらっているとは全く気にしてなかったです。ただ会社で仕事をしなくていい上です必ず必要なものばかりですので、現場で全く実感がなくても役に立っていると思いがちな頑張りだと思います。結果的に今は望んだ場所に居れる訳ですし、上に書いたこと以外の所ですが自分の持っていた知識を生かしているという実感もあり、仕事を続けていく良かったと思います。会社も度々変革期に入り、やるべきことが多くなってくると思いますが、少しでも働きやすい環境ができるように、その動きに関われるようにしていきたいです。



voice  
 お客様の声

◆おし鮮 西条店  
 社長へのハガキから  
 8月末から  
 9月到着分

◆おし鮮 西条店  
 生さんまのいろいろな握りがあり、旬を味わうことができました。秋の五葉盛りや松茸入りの土瓶蒸しに気がなりました。次回の楽しみにして。今回は、定番の上まぐろ・つじ貝・えんがわに加えて生さんまを堪能しました。西条の美味しさを頂く度に楽しんでいます。  
 (60代女性 西条市部内から)来店

◆カピ屋大福 呉店  
 ◆年に数回ではありますがご利用させてもらっています。店長の安田さんの接客にはいつも癒されています。メニューも豊富でいつも楽しんでいます。メニューも豊富でいつも楽しんでいます。

◆お褒めの言葉を頂き、大変嬉しく感じています。当店のメニューに満足して頂けて嬉しい限りです。季節ごとにメニューの更新も行っていきますので、こちらの商品もぜひ試してみてください。(店長 安田)

10・11月の「図書コーナー」の感想より

◆この本を読んでみて、私もこの本のおりに実験をして、本当かと思ってみたくて思いました。それから、この本はとても勉強になるなと思いました。(11才女子 西条店来店)

◆図書支援制度  
 トライアル



図書支援を利用して、子どもさんの誕生日に本をプレゼントした方がいらつやいます。社員のみならず図書支援を、どんどんご利用ください。

